

EV・PHVに乗ろう！

電気で移動する
新しいクルマ社会の実現！

EV・PHVについて

電気自動車（EV）・プラグインハイブリッド自動車（PHV）は、低炭素社会づくりのため普及が期待されている次世代自動車の一つであり、電気走行時にはCO₂を全く排出しません。

◆EV（電気自動車）

電気モーターを動力として走行する自動車で、家庭用電源から充電できる。平成22年4月からi-MiEVの一般販売が開始され、同年12月には、リーフの販売も開始される。今後はさらに車種が増えていく予定。



i-MiEV（三菱自動車工業）



リーフ（日産自動車）

◆PHV（プラグインハイブリッド自動車）

ハイブリッド自動車をベースに、家庭用電源から充電できる機能を追加するなどした電気自動車としても利用できるハイブリッド自動車。

平成24年の初頭に一般販売が開始される予定。



プリウス プラグインハイブリッド（トヨタ自動車）

EV・PHVの魅力

なんといっても、自宅で充電できることが最大の魅力！ガソリンスタンドでの給油待ちもなし。夜間電力を利用して充電すれば、家計の負担も軽減できます。お得な燃費でCO₂排出も大幅に削減！EV・PHVで新たなカーライフを満喫しましょう。



お買い物中にちょっと充電♪
(提供:中部三菱自動車販売)

青空の下で快適な走り♪

(提供:トヨタ自動車)



お家に帰ってフル充電★
(提供:新日軽)

「あいちEV・PHV普及ネットワーク」

愛知県では、EV・PHVの本格的な普及に向けて、平成21年4月に、「あいちEV・PHV普及ネットワーク」を設立し、EV・PHVの率先導入、充電インフラの整備、普及啓発などに取り組んでいます。

ネットワークには、EV・PHVの普及に対して、積極的に連携・協力して取り組む多数の企業や自治体に参加しています。



ロゴマーク


EV・PHVに関する ギモン？ にお答えします

Q：電気自動車の価格はガソリン車と比べるとまだまだ高いよね？

A：ガソリン車と比べると購入価格は高いと言われていますが、電力を利用して自宅で充電できるため、燃料コストが抑えられるというメリットがあります。(夜間電力ならさらにお得です！)

購入に際しても、国や自治体では補助制度が設けられています。

(現在、国では1台当たり上限約140万円の補助を行っています。)

		コンセント(フル充電)	
		100V	200V
一般家庭用			
E V	航続距離 160kmの場合	約14時間 電気料金※ 昼間:約350円、夜間:約150円	約7時間
	航続距離 80kmの場合	約8時間	約4時間

※電気料金は契約形態によって異なります。(EVは三菱i-MIEVを想定)

Q：走行中の充電切れが心配では？

A：1回の充電で、EVの航続距離は約90～130kmです。なお、PHVは最初に約20kmを電気で行き、その後はハイブリッド自動車として走行します。

また、県内で一般利用できる充電設備の位置情報は公開されています。

買い物や通勤などの日常利用では、ご自宅での充電で十分走行できるので、ライフスタイルにあわせて賢くEVドライブを楽しむことが可能です。

※充電はご自宅の既設コンセントで対応できます。

充電できる場所の情報はこちら…

【EV・PHV充電スタンドマップ】

HP：<http://maps.pref.aichi.jp/>

携帯：<http://www.pref.aichi.jp/mobile/>



Q：スピードや加速性能は？

A：スピードは電気走行で最高100～130km/hであり、高速道路も走行可能です。「あいちEV・PHV普及ネットワーク」で実施した試乗会でのアンケート結果でも、加速性能や静粛性、経済性に関して高い評価を得ています。

まずは、自動車ディーラーなどで試乗され、EV・PHVの良さを実感されることをおすすめします。

Q：環境には良さそうですが…

A：最大の特徴は、電気走行時に二酸化炭素を排出しないことや静かなことです。

ガソリン車と比べた場合、二酸化炭素の排出量は、EVで約1/3、PHVでも約4割にまで低減します。

愛知県は、自動車の保有台数が全国第1位と多く、自動車への依存率も高いことからEV・PHVの普及拡大は、二酸化炭素の削減に大きな効果が期待できます。

詳細は…

「ネットあいち」EV・PHVタウンについてのWebページアドレス

<http://www.pref.aichi.jp/0000024415.html>

あいちEV・PHV普及ネットワーク事務局

愛知県環境部大気環境課地球温暖化対策室

電話：052-954-6217